



巻頭言

新年のご挨拶

病院長 / よこやま横山 のぼる登

あけましておめでとうございます。2024年、病院長の念頭挨拶を申し上げます。
2020年以来世界的にパンデミックとなった新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大の収束がなされ世間一般では4年ぶりに以前のような年明けを迎えられたことを心からお喜び申し上げます。



昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で延期されていた“江戸三大祭り”のひとつに数えられる富岡八幡宮「深川八幡祭り」水かけ神輿渡御が6年ぶりに開催され、豊洲地区として病院前に休憩所を設置し神輿渡御に私をはじめ3人の副院長、事務部長、看護部長そして多くの職員と参加できたことはとても楽しく加藤豊洲町会長をはじめとした地域の皆様とともに盛り上がることができ、江戸の伝統を感じることができました。

今年は病院として2つのことに重点をおいて取り組みたいと思っています。

まず第1番目に、政府による少子化対策の一環として2022年4月より不妊治療の一部が保険適応になったことにより、《女性とこどもにやさしい》を理念としている当院でも**1月9日よりリプロダクション外来を開設いたします**。リプロダクションとは、再生、生殖などの意味があり、ここでは、不妊症、妊娠、出産に関わる医療を中心に診療を行います。女性の能力を最大限に発揮できる働き方が可能な現代社会において、希望者が子供を持てる社会が実現できるように、病院としても可能な限りお手伝いができればと考え高度生殖補助医療としてリプロダクション外来を設置いたします。

第2番目に、**紹介患者受け入れの強化および近隣医療機関との連携強化**を目指します。具体的には各診療科の受け入れ態勢を継続的に見直し2週間以内の早期受け入れ、“お断りなし”を推進し、近隣医療機関の先生方とは“二人主治医制”を強化し顔の見える連携強化で“お断りなし”を推進する方針でいます。



今年は辰年です。中国で「龍」は運氣上昇の縁起物とされています。江東豊洲病院の運氣の上昇と職員と近隣の皆様の更なる運氣の上昇を心から祈って私からの年頭の挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



第117号のトピックス

- 巻頭言（新年のご挨拶）
- 防災訓練を行いました
- DMAT 関東ブロック訓練に参加しました
- 医療安全推進週間 活動報告
- 江東シーサイドマラソン大会 医療活動報告
- バルーンアートを寄贈いただきました
- 江東豊洲病院開院10周年に向けて Part7
- 編集後記

防災訓練を行いました

12月7日（木）に令和5年度防災訓練を実施しました。今回の訓練では、東京湾北部で大規模地震が発生したと想定し、災害対策本部の立ち上げと、本部における情報収集活動、各部署から本部への被害状況報告について訓練を行いました。

災害対策本部訓練では、各部署からの被害状況を収集し、情報を書き出すことで、院内の状況を速やかに把握しました。



また、今年は災害対策本部訓練と並行して、トリアージ活動訓練を実施しました。病院の一部施設を使用したトリアージ活動訓練は4年ぶりでしたが、訓練参加者はトリアージエリアの設営、模擬患者の診療、トリアージタグの記入等の活動を通じて、災害発生時の患者の初期対応について、理解を深めました。



病院の緑地でトリアージを行った模擬患者を次のエリアまで実際に搬送しました。

トリアージとは？

災害時に多数の傷病者が同時に発生した場合、傷病者の緊急度や重症度に応じて適切な処置や搬送を行うために、傷病者に治療優先順位を決めることをいいます。

DMAT 関東ブロック訓練に参加しました

DMAT 隊員（業務調整員） / ^{たかだ}高田 ^{よしとか}義孝

令和5年度関東ブロック DMAT 訓練に参加しました。今回は、大正型関東地震（M8.2 最大深度7）が発生し、神奈川県内全域が被災、その後に富士山の噴火により広範囲の降灰被害が予測される事態を想定した訓練です。

関東労災病院に参集して地震による医療機関の被害状況把握及び病院支援（籠城・避難等）、医療搬送等の活動をしました。

また、地震発生後の富士山噴火による降灰被害についての研修会がありました。火山灰は小さな粒子とはいえ、1回の噴火で何十万トンという膨大な量が噴出し風に乗って東京にも3時間で到着する可能性が高くなっています。地上に降り積もる火山灰は、視界を悪くし交通を妨げ道路に積もるとわずか0.5mmの厚なでも、スリッパしやすくなったりします。その重みで電線が切れたり、導電性が高まり漏電などを起こして送配電機器を故障させたり、停電を引き起こし、医療や生活など広範囲に影響を与えることがわかりました。

近い将来の発生の切迫性が指摘されている、首都圏直下地震、富士山噴火等があります。発生時に、今回の訓練を生かして院内備蓄また地域医療機関と連携し、地域住民が安心して生活が出来るように頑張っていきたいと思っております。



左から、倉富看護師、平山看護師、高田業務調整員、佐々木医師

医療安全推進週間 活動報告

医療安全管理室 室長 / もりた まさし 森田 将

厚生労働省は、11月25日(いい医療に向かってGO)を含む1週間を「医療安全推進週間」と定めています。当院では今年度のテーマを「患者さん・ご家族・職員参加型医療安全週間」として、11月19日(日)から25日(土)の期間で取り組みました。主な取り組み内容は、

- ①職員から募った標語の掲示・投票
- ②医療安全に関するアンケート調査
- ③医療安全管理室の取り組みの掲示



の3つとしました。

今後、さらなる医療安全文化の醸成に向けて取り組んでまいりますので、医療安全管理室の活動に対しご理解ご協力のほどよろしくお願ひいたします。



江東シーサイドマラソン大会 医療活動報告

11月26日(日)に江東区夢の島競技場で行われた第41回江東シーサイドマラソン大会へ泌尿器科 森田将准教授が派遣され、ゴール付近での傷病者の医療救護活動を行いました。

当日は荒天で参加者の低体温症が危ぶまれましたが、重傷者の発生もなく無事に大会は終了しました。



バルーンアートを寄贈いただきました



この度、「Lucaemma 小児病棟支援プロジェクト」よりバルーンアートを寄贈いただきました。

いただいた emma のバルーンアートは、こどもセンター病棟に飾り、入院中の子供たちへのすてきなクリスマスプレゼントになりました。お心遣いに、職員一同よりこの場をお借りして御礼申し上げます。ご支援ありがとうございました。



江東豊洲病院開院 10 周年に向けて Part7

昭和大学江東豊洲病院は2014年3月24日に開院し、今年10年を迎えます。病院だよりでは数回にわたって病院の沿革を皆さんにご紹介します。

2021年7月23日～8月8日 東京2020オリンピック競技大会 医療支援
8月24日～9月5日 東京2020パラリンピック競技大会 医療支援

新型コロナウイルス感染症により1年延期となり2021年に開催された大会にメディカルスタッフとして医師14名、歯科医師1名、看護師9名が交代で参加しました。

泌尿器科 森田将准教授が会場医療責任者を務め、担当した有明アリーナ会場ではバレーボールと車椅子バスケットボールが開催されました。

長い大会期間中には濃厚接触者チームの対応や発熱隔離テントの運営等の事項もありました。

コロナ禍で救急搬送事例の予定された大会指定病院での受け入れが困難になる中、急遽、会期中に選手・チーム関係者搬送の後方支援を担当し、実際に要入院・手術適応となった方の救急受け入れなどがありましたが、病院全体の協力体制のもと、大事なく会期を終了しました。



当院から見える有明アリーナ会場（2021年8月撮影）



医療支援スタッフによる訓練

編

あけましておめでとうございます。

集

昨年、夏以降は季節の変わり目を感じにくい天候で、更に日本では四季の到来が無くなるのでは？と、ショッキングな事が言われておりましたが、11月に私用で山梨県へ訪れた際にはしっかりと紅葉を観ることができホッとしました。12月には表参道をはじめ、街路樹が電飾されイルミネーションにも多くの方が魅了されているのを家路でよく見かけました。どのようなものであれ、綺麗なものを観賞することは心にゆとりをもたらしますね。

後

今年の干支は“辰”でキーワードは変革や激動です。今までの努力が身を結びやすい年と言われております。当院は開院し10年を経過しました。これまで行ってきた努力が実り大きな変革の年になればと思い、日々の診療に邁進したいと思っております。皆様にとっても、今までの努力が実り大きな成果が生まれる年になりますようお祈り申し上げます。

記

整形外科 白旗 敏之
しらはた としゆき
としゆき 敏之



昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：横山 登 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院
Facebook ページ

Showa University Koto Toyosu Hospital